

除排雪対策の切り札である中心部の雪捨て場確保に活路! 豊平川河川敷の活用拡大に向けて全力投球



今年の札幌は特に雪が多く、除雪や交通渋滞で大変な思いをされた方も少なくないと思います。「札幌市は何をしているんだ!」とお怒りの方も中にはいらっしゃるかもしれませんが、私は、札幌市の雪対策の現状と問題点を整理して、解決に向けた具体的な行動を進めます。その一端を市民の皆さんにお伝えします。



「大好き」だからこそ
やりたい事があるのです。

大好き札幌通信

2022年春号
市政だより
雪対策特集号

札幌市議会議員
中央区

中川 賢一

けんいち

地域の声なき声をくみ上げ具体的に動く
雪にも強い安全・安心・快適な街を創る

札幌市の雪対策の現状は・・・



雪対策事業に年間300億円

一口に雪対策といっても、道路の除雪・排雪、雪堆積場の確保、除排雪機械の確保、ロードヒーティングなど、事業内容はさまざま。その中で最も費用がかさむのは「排雪」で、予算のおよそ半分が使われています。雪対策には毎年200億円以上のお金が使われていますが、年々右肩上がり。令和3年度は記録的な大雪による排雪量の増加、燃料代の高騰などの影響で、補正予算を合わせて初めて300億円を突破しました。



人材不足、雪堆積場が遠い・・・

いろいろと工夫をこらしながら、対策を行っている除排雪事業ですが、近年は維持が難しくなっています。その要因の一つは、作業の大半を担っている建設事業者の人的費の上昇と深刻な高齢化です。若い世代の建設業界離れは著しく、一説では平均年齢が60歳代半ばという話も耳にします。近い将来、いくらお金を積んでもできる人がいないという事態にも陥りかねません。また、以前は豊平川の河川敷に多くの雪捨て場がありましたが、河川環境の保全などを理由に次々と廃止され、雪捨て場が郊外に追いやられています。このことがダンプカーの回転率を下げ、コスト増と作業効率の低下の大きな要因にもなっています。

雪対策についての活動を裏面で紹介しています!

中川賢一市政事務所 〒064-0920 札幌市中央区南20条西6丁目4-107ラッツ札幌南1階
TEL.(011)520-0001 FAX.(011)520-8888



中川賢一のプロフィール

●1967(昭和42年)1月9日札幌市生まれ ●緑丘小学校、伏見中学校、札幌南高校、東北大学経済学部経済学科卒業、シンガポール国立大学エクステンション・プロフェッショナル・ディプロマ・アジア・パシフィック・マーケティング修了 ●北海道拓殖銀行を経て、平成6年北海道庁入庁。道シンガポール事務所駐在員など、主に経済政策に従事。退職後、札幌国際大学非常勤講師、札幌商工会議所付属専門学校講師などを務める ●平成27年札幌市議会議員に初当選(現在2期目) ●天然記念物北海道犬協会会長、NPO法人コンパサーレ(障害者職業訓練・就業支援)理事、北海道農水産物事業者協会顧問、ビジネスコミュニケーション協会顧問、鴨々川を清流にする会顧問ほか公職多数